

■ MTO（メディカルタイムアウト）規約

1. 選手の健康と安全に対して万全を期すため、以下のように「メディカルタイムアウトに関する基本的な考え方」を定める。

- (1) 選手はメディカルタイムアウトを要求できない。
- (2) けいれん等の治療はできない。
- (3) 突発的な事故に関しては、レフェリーが判断する。
- (4) 監督・引率責任者は、選手の体調管理に責任を持って対処する。
- (5) 選手の安全上、試合続行が危険であると判断した場合は、選手の将来を考慮し、レフェリーがリタイアを宣告する。

2. 実際の手順

- (1) 突発的な怪我・体調不良の選手への第一対応はコートレフェリーが行う。
 - ①選手の動きに不自然さが認められる状況において、コートレフェリーは近くに待機し、あらかじめ状況を医師に連絡しておく。
 - ②試合続行が一時的に不可能になった場合、コートレフェリー（医師）は近くで視認する。
 - ③意識がない場合は試合を中止し、コート外で緊急処置を行う。
 - ④選手に棄権の意思がある場合、または医師の判断により試合続行が不可能な場合は試合を中止し、コート外で緊急処置を行う。
- (2) 試合続行の判断が難しい場合、コートレフェリーは状況を確認してレフェリーを呼ぶ。
- (3) レフェリーが判断する。（突発的な怪我等は治療を行う場合もあるが、基本的にはリタイアを勧める。）

3. 補足

- (1) 試合中、または試合後に医療機関による治療を受けた選手に関しては、その診断の内容をレフェリーに報告し、安全面の確認を経た後、翌日以降の試合に参加することができる。
- (2) 選手・引率責任者は、緊急事態が発生した場合、以下の書類の作成のため、情報提供に協力する。
 - ①緊急事案発生時の報告用紙
 - ②救急搬送連絡票
 - ③緊急連絡票